

平成28年度青森県公社等経営評価書

(平成27年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)					
17	青森空港ビル(株)								
所管課名	県土整備部港湾空港課								
決算状況 (単位:千円、%)									
出資	資本金	県出資額	県出資比率						
	1,620,000	884,000	54.6						
決算	前期純利益	当期純利益	利益剰余金等						
	51,118	93,251	1,394,690						
資産	資産	負債	純資産						
	3,304,901	259,238	3,045,663						
財務分析指標									上記についての所管課の意見・評価
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】	◎			
92.16	4.38	0.00	18.45	23.72	旅客ターミナルビルの拡張、レンタカーターミナルの整備、エアポートラウンジのリニューアル等、さまざまな取組により、設立目的である空港利用者に対する利便性の向上は図られている。 平成27年度には「青森空港活性化ビジョン」の目標である利用者数年間100万人以上を達成しており、今後も県及び関係機関と連携を強化し、空港利用者のニーズに対応した取組を進めてもらいたい。				
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		【計画性】	◎			
71.13	20.69	1,343.14	0.00		今年中に旅客ターミナルビルのリニューアル計画を策定し、「中期経営計画」の見直しを実施すること。 今後も、中期経営計画に基づき、数値目標、定数管理、収支計画等の達成に努めること。				
経営評価結果				【組織運営の健全性】					
評価区分	A:概ね良好			◎					
<財務状況> 財務の状況については、毎期安定的に黒字を確保している。リニューアルオープンしたラウンジ及び航空会社からの不動産収入等の増収を背景に、利益剰余金も十分に確保され、経営基盤は安定しているものと評価できる。				【経営の効率性】 ○					
<経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、おおむね妥当なものと認められる。				【財務状況の健全性】 ◎					
<留意事項> 旅客ターミナルビルが竣工から29年を迎えるところであり、今後策定するターミナルビルリニューアル計画と、これを踏まえた中期施設保全計画により中長期的な視点に立った大規模修繕の実施及び長寿命化対策を含む総合的な施設マネジメントを期待する。 なお、県においては、空港の運営権を民間事業者に付与する制度(コンセッション方式)等の導入を含め、最適な管理運営方法の検討に着手しており、当法人においても、当該検討に合わせた県との連携・協力を期待する。				28期連続で黒字を計上し、借入金もなく、持続的・安定的な経営を行っていることは、高く評価できる。 今後策定するリニューアル計画において、建設費に多額の費用を要することが予想されることから、中期経営計画等により、適正な執行管理に努めること。					